

平成30年度9月議会の補正予算について

補正予算

一般会計

桑名市総合計画(2015-2024)の中間見直しにあたる後期基本計画の策定のため、計画策定に要する経費を計上するほか、災害等に対応したブロック塀の改修工事、被災地応援のための職員派遣及び市立小学校などへの空調設備整備に向けた調査検討業務の費用、ICTを活用した業務効率化を検証するための費用などを計上する。

補正額 2億 141.3万円 補正後予算額 521億 7,051.5万円

補正予算の主な事業

総合計画策定事業費 **196.9万円**

- ・桑名市総合計画(2015-2024)の中間見直しにあたる後期基本計画の策定のため、計画策定に要する経費を計上する。※計画策定業務委託料は債務負担行為設定。

1 命を守ることが最優先

1 施設維持補修費（小・中学校費） 他 **計 3,701.9万円**

- ・6月の大阪府北部を震源とする地震に伴い、小中学校や公共施設のブロック塀を点検し、危険と判断されたブロック塀の解体撤去及びフェンス設置工事費を計上する。

2 一般職給（総務管理費）、一般職給（消防費） 他 **計 694.7万円**

- ・7月の西日本豪雨被災地における支援活動のため、被災地への職員派遣（消防職員の緊急消防援助隊派遣を含む）に要する費用を計上する。

3 林道復旧事業費 **189.5万円**

- ・多度町地内の林道において山側斜面が崩落したことにより、林道と河川が塞がれているため、調査・機能回復に係る費用を計上する。

4 避難路沿道建築物耐震支援事業費 **1,702.5万円**

- ・耐震診断を義務化されている避難路沿道建築物の耐震診断費用について、助成を行うための費用を計上する。

2 子どもを3人育てられるまち

- 1 空調設備整備事業費** **648.0万円**
 - ・夏季の気温上昇による児童・園児の体調管理や学習及び保育環境の向上のため、市立小学校・幼稚園の教室等への空調設備整備に係る調査検討業務委託の費用を計上する。

- 2 住民情報システム事業費（社会福祉総務費）** **1,287.5万円**
 - ・来年9月から実施予定の0歳から6歳までの未就学児童を対象とした医療機関での窓口無料化に伴うシステム改修等の費用を計上する。

- 3 いじめ防止対策事業費** **39.9万円**
 - ・自殺予防を踏まえた心の健康教育の推進モデルとして、教職員および学校の児童生徒への指導や支援につなげるための研究、冊子作成等の費用を計上する。

- 4 施設維持補修費（小学校費）、施設維持補修費（幼稚園）** **計 454.9万円**
 - ・大雨により市立小学校・幼稚園に雨漏り等の被害が発生したため、これを修繕する費用を計上する。

3 地理的優位性を活かした元気なまち

- 1 道路施設管理費、一般管理費（公園費）** **計 5,800.0万円**
 - ・市道、公園等の樹木の適正管理を推進するため、樹木の伐採に係る費用を計上する。

4 納税者の視点で次の世代へ責任ある財政に

- 1 ICT推進効率化事業費** **452.7万円**
 - ・ICT活用（RPAやAI-OCRなどの活用）により事務処理を効率化できる業務の選定と効果検証についての支援業務を委託する費用を計上する。

- 2 健康増進施設導入経費** **57.5万円**
 - ・コラボ・ラボ桑名に健康増進施設整備・運営事業の提案があり、事業実施のため、土地の鑑定料及び公募型プロポーザル方式による事業者選定の費用を計上する。

その他

- 1 育児休業者への対応** **434.9万円**
 - ・働き方改革を推進し、働きやすい環境への変化による職員の育児休業への対応として、臨時的任用職員の任用を行う。

- 2 新元号への対応** **2,622.7万円**
 - ・来年、元号が改元されることに対応するためにシステム改修を行う。

3 指定管理者制度による管理運営方法の見直し（債務負担行為の設定）

- ・現在、指定管理者制度によって管理を行っている施設について、施設のあり方や、役割等の見直しを行うことにより、当該施設の特徴や時代に合った管理運営方法を選択できるよう債務負担行為を設定する。

※ 平成30年度内に契約行為を進める必要性があることから債務負担行為を設定する。